

## 「日本の大学生との交流 2009」



### 目的

日本、中国、オーストラリア、ニュージーランドの若者が同じ目的のもとに行動を共にし、本音で意見を交換することにより、相手と相手の国への理解を深め、友情を育むことです。

### ねらい

- ・ 建前ではなく本心から相手や相手の国への理解を深めること
- ・ 自分の国に対する認識を深めること
- ・ 友だちという心のつながりを築くこと
- ・ 行動の中で自分の日本語力や中国語力を実践すること

### 参加者

合計 55 名

\* 訪日団員 31 名

\* 日本の大学生 25 名

- ・ 東京の大学生 11 名（東京大学 4 名、日本女子大学 2 名、青山学院大学 1 名、聖心女子大学 1 名、独協大学 1 名、共立女子大学 1 名、早稲田大学 1 名）
- ・ 京都の大学生 14 名（立命館孔子学院 10 名、立命館大学 4 名）

### 内容

\* 東京（実施日：1月26日）

東京大学国際交流サークル「茶柱」を中心に日本の7つ大学の有志学生と訪日団員が、テーマに沿って6グループに分かれ、東京、横浜の様々な場所を見学しながら日本理解と交流を深め、交流終了後には、東京大学駒場キャンパス学生食堂で「交流報告会」を開催し、交流の成果を報告し合いました。

<6つのテーマ>

- ・ 日本経済・政治の中心を知る
- ・ 古き良き東京の情緒を味わう
- ・ 東京の古さと新しさを知る
- ・ 若者の街-東京を知るしさを体験
- ・ 東京のユニークな面を知る
- ・ 横浜を知る



\* 京都（実施日：1月30日）

立命館孔子学院（主に中国語や中国文化を学ぶ、社会人が多い）と立命館大学の有志学生の案内で金閣寺、清水寺を見学しながら、日本語或いは中国語で日本理解と交流を深めました。